

報告② 戦略会議と専門部会の開催状況について

➤ 第 4 回協議会（令和 2 年 3 月 24 日）以降の会議開催状況

● 第 1 回戦略会議（令和 2 年 4 月 16 日開催）

[委員]（協議会正副会長、部会長）

- ・ 迫 会長
- ・ 山本 副会長
- ・ 西條 副会長 兼 観光・産業振興部会長
- ・ 江頭 副会長
- ・ 中野 街並み・交通アクセス部会長

[主な議題]

① 戦略の基本的な考え方及び進め方について

- ➡ ・ 説得力のある交流量の数値目標を JR に示し、停車本数増加を目指す方向性を確認

② 戦略の内容について

- ➡ ・ 議論の切り口として、「札幌・倶知安と比較した強みを生かす」「現在の交流量推計に含まれていない道央圏内の移動分を上積み」「客層・エリア等によるターゲット整理」を提示

[主な意見]

① 戦略の基本的な考え方及び進め方について

- ・ どのくらいの乗降客があれば JR にも効果があるのかをつかんだ上で、戦略を考えたい。そのために、まず全国の事例でどんな状況になっているか教えてほしい。
- ・ 利用者のうちどのくらいが自家用車を使うのか、どういう用途で使うかによって、駐車場台数がどのくらい必要なのかが決まってくる。
- ・ 新幹線通勤者がどの程度見込めるか。類似駅の通勤時間帯の状況（本数）を調べてほしい。

② 戦略の内容について

- ・ ターゲットとなる人たちは、何を求めて小樽を利用するかということを考える必要がある。
- ・ どのエリアもターゲットになるのであって、エリア別に効果的な施策をそれぞれ講じていかなければならないのでは。
- ・ 高齢者の新幹線利用を考えることが必要。東北と連携した商品開発など。
- ・ 函館空港から入って、新幹線を利用し、新千歳空港から帰るような周遊も考えられる。

● 街並み・交通アクセス部会

（第 2 回：令和 2 年 8 月 4 日開催、第 3 回：令和 2 年 8 月 20 日開催）

● 観光・産業振興部会

（第 2 回：令和 2 年 8 月 6 日開催、第 3 回：令和 2 年 8 月 25 日開催）

[主な議題]

- ・ アクションプラン策定に向けた 2 次交通対策、ソフト対策の検討
- ➡ 資料 3-1～3-5 参照

[主な意見]

- ➡ 資料 3-6、3-7 参照